

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



吉本 哲郎

(広島/84期)

四日市記念の落車はあったけど、ここに向けてやってるし、走る気があります。(町田) 太我也上がってきたし、今回は弟子がいっぱいいるんでメチャクチャ楽しみ。年に1回の地元記念だし出るからには勝ちたいんで、しっかり勝負しにいくつもりです。

町田 太我

(広島/117期)

今は勝ち負けにこだわらず先行するということを自分自身に課しています。(デビューして) 今年広島記念に出るのが第一の目標だったのでホッとしてるけど、初めての9車は不安ですね。まずは自分のスタイルを崩さず、出し切るレースをするのが目標です。



山口 拳矢(岐阜/117期)

チャレンジ戦、1・2班戦ともに最短の3場所で卒業したスーパールーキー。S級でも勝ち星が多く、4場所目の12月伊東で初Vを3連勝で飾った。Gレースは今回が初参戦。どこまでやれるか注目したい。



雨谷 一樹(栃木/96期)

ワールドカップのチームスプリントで金メダルを獲得したスピードの持ち主。本業の競輪では自慢のスピードをフルに発揮できていない印象もあるが、11月平塚では完全Vを達成。一発の魅力を秘めている。



山本 直(岡山/101期)

予選で大敗が続いていた時もあったが、10月京王閣記念で2④着で準決に乗ったあたりから動きが良くなってきた。11月名古屋2①⑥着など引き続き好調なので、予選、選抜クラスは好勝負が期待できる。

レインボーカップ チャレンジファイナル

12/27 (最終日) 9R

前記の通り、佐藤も勝負駆けだ。今年3回特班に挑んでいるオールラウンダーぶりをいい方向に発揮ならチャンスをモノにできる。

脚で敵をまとめて倒すか。連係があるかは流動的だが、長屋秀明、下井竜も魅力的な存在だ。長屋は直近の12月大垣MNを含めてここまで5V。ダッシュ鋭いスプリンターで、流れへの対応能力も高い。一方の下井は未だVがないが、抜群の安定感。先行力はチャレンジ屈指のレベルだ。

個の力なら、チャレンジで全く連を外していない兼本将太だろう。デビュー直後は4連続準Vともどかしさがあつたが、9月小倉MNで完全優勝してからは、力は付いてきていると思う。と自信を持って走っている。同県同期勢はすでに4名が特班しているだけに、このチャンスは逃さない。踏み出してグイグイ掛かっていく強地脚で敵をまとめて倒すか。

渡邊雅に期待も大接戦



渡邊雅也

関東115期コンビに、117期勢が7名という争い。来期も3班の117期勢は言うまでもなく、関東の2人にしても佐藤礼文は今期もまた失格が3回と是が非でも特班を決めたい状況だ。単騎勢が多くなりそうだし、初の9車立てレースとあって展開は読みにくい。しっかりラインを組めそうな静岡勢が優位にレースを運ぶとみて、渡邊雅也を本命に推す。デビューから順調にVを重ねていて競走得点は今回の出場メンバー中最上位だ。仕掛けのタイミングにまだ課題があるというが、自慢のダッシュは強烈なもの。一度だけ連係もある仁藤秀を連れての一気に攻撃を決めるか。